

長時間労働削減の 取り組みなど確認

佐藤渡辺の石井社長
富山で安全パトロール

佐藤渡辺の石井直孝社長は、富山県小矢部市などの道路工事現場で12日に安全パトロールを実施した。長時間労働の削減に向けた取り組み状況や、下請会社への発注内容が適正かなどを確認。安全や作業環境などの実態を把握し対策を指導した。

建設業年末年始労働災害防止強調期間に合わせて実施した。パトロールしたの

社員の説明を受ける石井社長
(写真中央)



は国土交通省北陸地方整備局が発注する「R1高岡・能越管内待避場等整備工事」の現場。石井社長以外に堂

尻伸二安全環境部長ら7人が参加した。

工事では待避場の拡幅やアスファルト舗装を施工している。現場を巡視した石井社長は「現場では多くの重機が稼働している。重機の死角を全員で確認し、前後進時の接触事故防止に努め、無事故完成を目指してほしい」と要請。「今後現道部は夜間工事になるが、一般車に分かりやすい交通規制を心掛け、無事故・無災害で工事を完成させてもらいたい」と関係者を激励した。

